

# 大型車、車輪脱落事故防止ポイント

## 下記の様なナットは使わない

<座金が回らない>



<座金が分離>



その他の異常  
事例はこちら



## 使用するナットにオイルを塗布する

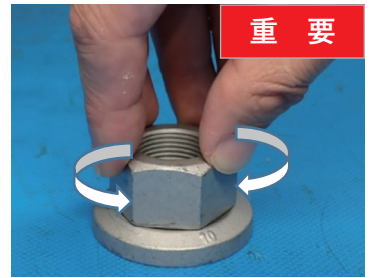
①ナットのねじ部に  
オイルを塗布



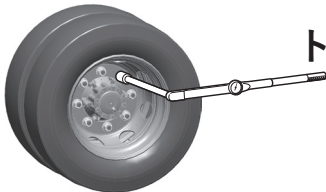
②ナットと座金のすき間  
にオイルを塗布



③ナットを回し座金のすき間  
全体にオイルをなじませる



## トルクレンチを使って、規定トルクで締め付ける



トルクレンチ

規定トルク

・550～600 N・m

## ナットの増し締め

タイヤ取付け後は50km～100km走行後を目安に増し締めしてください

## 日常点検でナットを確認

緩み、脱落を

- ・目で見ると
- ・点検ハンマーを使う



インジケータを使用すると緩みを検出しやすくなります

詳細については、裏面及び取扱説明書をご確認ください。

# ISO方式ホイール取付け時のポイント

## 1 部品の点検と清掃

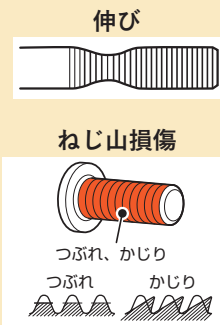
部品を点検し、以下のものは交換

- ・ナット：座金が固着、分離、ねじ山の損傷
- ・ボルト：折れ※1、伸び、著しい錆、ねじ山の損傷

※1 折損している場合は、その車輪すべてのボルト、ナットを交換

部品取付け面、ネジ部を清掃する

ディスクホイール、ハブ、ボルト、ナットの  
錆やゴミ、塗装などを取り除く。

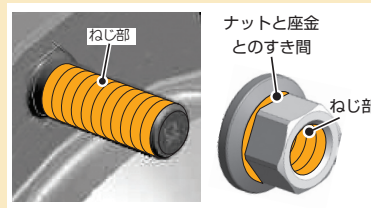


## 2 ナット、ボルトへのオイル塗布

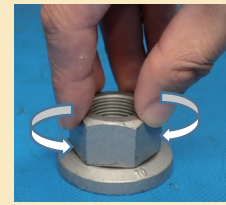
ナットとボルトにエンジンオイルを塗布

- ・ナット：①ねじ部、②ナットと座金のすき間
- ・ボルト：ねじ部

ナットを数回まわし、ナットと座金のすき間  
全体にオイルをなじませる。



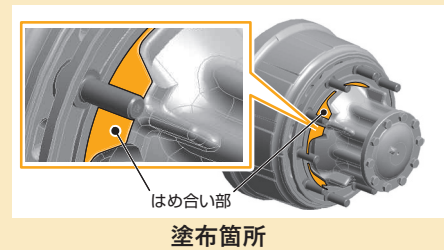
塗布箇所



オイルをなじませる

## 3 ホイールの取付け

- ・ハブのはめ合い部にグリースを薄く塗布してください。
- ・ホイール取付けの際は  
ボルトのねじ部を傷つけないよう注意し、  
ホイールをハブの奥まで押し込んでください。



## 4 ナットの締付け

- ・ナットを手で回しホイールに着座する事を確認し、  
かじった場合、ボルトとナットを交換  
してください。

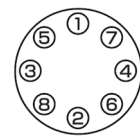
- ・仮締め後トルクレンチを使用して  
規定のトルクで締付けてください。

規定トルク：550～600N・m

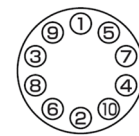
### 注意

仮締め、本締めともに対角線順に締付けてください。

8本ボルトの場合



10本ボルトの場合



## 5 ナットの増し締め

- ・タイヤ取付け後50～100km走行後を目安に、再度規定トルクで増し締めしてください。

### 日常点検で確認すること

#### ①目で見て確認

- ・ナットが浮いてないか？
- ・ナット、ボルトは付いているか？
- ・ホイールに亀裂がないか？

#### ②点検ハンマーで確認

- ・ナットに指をそえて叩く  
⇒振動・音が他と違うと  
緩みの恐れ

